



5
 2018

主題 (2017/2018)	
国際会長	Friendship across the borders Let us walk in the Light-together 「国境なき友情」 「ともに、光の中を歩こう」
アジア会長	Respect Y's Movement Solidify the Ys Men Family for Better World. 「ワイズ運動を尊重しよう」「よりよい世界のため、Ysファミリーの絆を強めよう」
西日本区理事	Healthy mind&healthy body make healthy club 2022年にむけて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
中西部長	Hope for the Future 「未来には希望がある」
大阪クラブ会長	Exchange the Neighborly Love 「隣人愛を実践しよう！」

会長	牟 大
直前会長	北 村 知
副会長	三 森 嶋 弘
	豊 島 正
書記	利 本
会計	脇 博
ブリテン	博 博
連絡主事	清 水 汎

【今月の聖句】

「キリストに対する畏れをもって、互いに仕え合いなさい」
エフェソの信徒への手紙 5 章 2 1 節

【聖句に寄せて】

田尻 忠邦

「仕える」と訳されたギリシャ語は「人の下に身を置く」という意味があるそうです。この「仕える」こそは、イエス様、その御方の基本姿勢であります。だからこそ私たちはイエス様を「畏れ（敬う）」のです。「キリストに対する畏れ」とは、キリストに対する絶対の信頼と服従です。

【巻頭雑感】

清水 汎

4月の新入社員の入社式も終わり、新しい職場で新しい仕事に励むこととなります。現在の若者は、最後まで終身雇用でその職場で働く人は少ないようです。社会も成熟期に入り、サービス業に勤める人が多く、IT、AI化で職場の組織・仕組みも変化が多く、売り上げも多様化で安定することが少ないようです。

人間関係もメール、SNS、ツイッターを使い、人と人とのコミュニケーションが十分できない人も多く、人間関係の難しさもあるようです。勤続年数も3年以内に中高卒で4割、大卒で3割の離職者が出るようです。大卒で、従業員5～30人未満の企業で3年離職率はおおむねどの年も5割程度、30～99人の企業で4割程度になるようです。業種別でみると、宿泊業と飲食、塾関連、娯楽業で5割程度、不動産、医療、小売業などで4割近いようです。

一方、従業員が1000人を超える大企業は、3年離職率は2割程度となり、四季報に載るような大企業では1割以下です。企業運営に無理したブラック企業が日本にかなりあり、学生が就職するとき企業選別が難しく、学校側も就職率を上げるため、その個人の性格に似合う適切な相談に十分乗っていない

い帰来もあると思われます。転職を重ねる人生も問題があり、一度退職すると非正規社員で人生を終わる場合もあり、生活の問題で結婚もできず、人口減の一つにもなっていると思います。

日本では、大企業では中途採用は非正規が多く、転職は中小企業が多く、その職場に生き甲斐を見つける方もおられますが、難しい人生を送る方も多いようです。私たちも若者の相談に乗ってあげることも大事であります。

【5月例会プログラム】(LT強調月間)

と き：2018年5月8日(火) 18:30～

ところ：土佐堀YMCA 101号室

会 費：ビジター 2,000円

司会：脇本 博メン

1. 開会の鐘 牟 大盛 会長
2. クラブソング
3. ゲストメネット紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」斉唱・晚餐
6. 会食 (90周年記念例会試食会)
7. 90周年準備委員会 実行委員長 清水 汎
8. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
9. インフォメーション
10. YMCAニュース
11. 閉会の鐘 牟 大盛 会長

受付：北村、條、牟

於：4月例会



◆今月のお誕生日：該当なし

◆メネットさんお誕生日：該当なし

◆ご結婚記念日：藤岡宏樹(3) 尾和信孝(8) 清水汎(11) 清水民夫(22) 牟大盛(30)

【第2例会のご案内】

と き：2018年5月15日(火) 19:00～21:00

ところ：大阪土佐堀YMCA会館 701号室

(変更になることもあります)

【4月出席状況】

区 分	在籍数	出席数 (%)	メネット	ビジター ゲスト
正会員	13	10 (76.9)	1	7
広義会員	1	0	0	
計	14	10	1	7

☆ニコニコ献金； 11,000円

★メネット；脇本真知子メネット会長

★ビジター；山中秀男様（大阪センテニアルクラブ）

大村 肇様（中西部部長：大阪センテニアルクラブ）

藤井弥生様（大阪なかのしまクラブ）

★ゲスト；植野正弘様（講演者・大阪市バスケットボール協会会長）

小川健一郎様（大阪YMCA総主事）

坂井祐菜様（大阪YMCAウェルネス）

友 岳之様（ ” ” ）

【4月第2例会・役員会報告】

日 時：2018年4月17日（火） 19：00～21：00

場 所：土佐堀YMCA701号室

出席者：牟大盛会長、清水汎、北村知三、脇本博、田尻忠邦、脇本真知子メネット会長

●会に先立ち、牟会長より訃報について、本日大阪サウスクラブの鷺谷会長が急逝されたとの連絡を受け、弔電を送った旨の報告があった。

協議事項：

1) 5月例会（LT強調月間） 5月8日（火）

「90周年準備委員会」の例会とする。

(1) 90周年用の2千円のお弁当をシンエイフードに依頼し試食する。（脇本メン）

(2) 90周年の案内チラシ第2報を20部ほど準備する。（清水メン）

司会；脇本メン、清水メン 受付；北村メン、條メン、牟メン

—6月例会（年間評価、次期計画） 6月12日（火）

2) その他協議事項

① 他クラブ周年記念例会への参加者を再確認

—神戸ポートクラブ：創立30周年記念例会 4月28日（土）13：00～17：00

場所；神戸YMCA三宮会館チャペル & グリーンヒルホテル神戸 参加費6千円

参加予定者：牟会長、清水（汎）メン、田尻メン

—近江八幡・西宮・広島：3クラブ合同創立70周年例会 5月12日（土）

参加予定者：牟会長、豊島メン（祝儀 3万円受）

② 部会・イベント（*印は大阪土佐堀YMCA行事）の件；

—チャリティーコンサート；4月21日（土）18：00～20：30 土佐堀Y10Fチャペル
参加費 3千円（食事・ドリンク付）、ミャンマーYへエイズ孤児支援金、
主催；土佐堀ワイズメンズクラブ

—ファミリーコンサート；5月12日（土）14：00～16：00 土佐堀館2階大ホール
参加費 前売り2千円（当日2千5百円） 主催；センテニアル&なかのしま

—「うなぎの森」5月20日（日）午前10時～ 高槻・神峯山 苗木代1本2千円、
弁当代千円 主催；大阪府木材連合会 協賛；ワイズメンズクラブ中西部
苗木購買者：牟会長、清水（汎）メン、北村メン、脇本メン

—第21回西日本区大会 6月8日（金）前夜祭；9日（土）・10日（日）ANA ホテル神戸
＊90周年記念例会の案内チラシを配布する。

—第73回国際大会 韓国（麗水） 8月9日（木）～12日（日）
トラベルファイブからの案内登録受付

③ 90周年祝会実施の件；清水汎 実行委員長

日時：2018年11月10日（土）ワイズデー 12：00～16：00（受付11：30）

場所：大阪YMCA土佐堀館2階大ホール

—今回討議事項した事項：

- ・5月例会にはプログラムのたたき台、予算のたたき台を準備し、準備担当役割を決める。
- ・記念誌の編集について、80周年記念以後の10年間のクラブ活動を加えること
- ・チャータークラブ24クラブへの挨拶状について
- ・案内チラシ第2報を3千部作成し、6月の西日本区大会や各地部会で配布すること
- ・講演講師は、佐々木貴教先生に確定、洋楽出演者は4人の方々に依頼済
- ・お弁当はシンエイフードに依頼し、5月例会で試食会を行う。
- ・参加者全員への持ち帰りお土産について、布製バッグがアイデアにあがった。
- ・90周年記念の基金も考える。
- ・祝会プログラムのなかで、HHキャンプ協力献金についての過去の記録を表現すること。

④ ブリテン編集の件：

—例会報告担当者：5月濱添メン、6月牟会長

—その他の行事：神戸ポート30周年・田尻メン 3クラブ合同70周年・牟メン

⑤ 次期の役員、例会について

—8月納涼例会・・・パサディナクラブからの交換留学生の来日に合わせるため、今年は
8月10日（金）時間18：30～の行い、場所はキャッスルホテルで行う。また出し物として8名
のマンドリンチームに決定（担当：脇本メン）

⑥ その他協議事項について

—HH国際キャンプの件

今年度HH国内キャンプの進展状況について、田尻メンから報告があり、HHリーダー会と話し合い
中で、実施場所は阿南キャンプ場が候補にあがっている。

—パサディナクラブ交換留学生（受け入れ）の件

YMCAの「グローバルユース・コンファレンス」の時期（8月6日～10日）に合わせる。

脇本メンから、パサディナクラブのブランディーン氏と交換留学生人選中との連絡を受けている、との報告があった。

【4月例会報告】

清水 汎

2018年4月10日（火）4月例会が、脇本副会長の司会で小川新総主事を迎え、大阪YMCA会館10階チャペル室で行われました。

小川新総主事には、大阪クラブの会員になっていただくよう、皆さんでお願いの手紙をお渡ししました。小川新総主事、末岡前総主事のご挨拶がありました。末岡前総主事には、永年大阪クラブを支援頂き有り難うございました。小川新総主事は若々しく優れた人柄と見受けられました。これからも宜しく願います。

今月の講師は田尻メンのご紹介の植野正弘さん（大阪市バスケットボール協会会長）でした。植野さんは中学の教師として赴任した学校の生徒が不良化して手を焼き、非常に困っていた状態でした。その為、植野さんはバスケットボールチームを作り、それら不良の生徒を正しく導く努力をされたようです。スポーツを通して勝つ喜び、また礼儀を教え、努力次第で人間は成長できることを教えられたようです。人間として裏切られても裏切るな、信頼のできる人になれ、と育てられたようです。

奥さんの関係もあり、YMCAのプログラムでホストファミリーをされたことで、YMCAと繋がりができたそうです。その後、ご自身もアメリカ、サンフランシスコの日系人団体JCCCNCとの中学生バスケットボール親善交流でYMCAとの関係を深められたそうです。

北カリフォルニア日本文化コミュニティセンター（JCCCNC）は、サンフランシスコ周辺に在住の日系独居老人の支援と、日本文化を日系人の3世、4世の若者に継承していくことを目的として設立された団体です。阪神淡路大震災のときには、大阪YMCAを通じて神戸YMCAに多額の寄附をし、東北大震災のときにも日本YMCA同盟を通じて多額の寄附をしてくれています。

植野さんは、大阪YMCAとJCCCNCとの中学生親善バスケットボール交流に2004年から関わられて、当初は選手も指導者も試合に勝つことばかり考えていたが、JCCCNCの選手が選手交代の際、コートに入るとき、出る時に一礼をする姿、ファインプレイは相手チームであっても「ナイスプレイ」と言って、拍手をして褒め称えるマナーの良さに、試合に勝つことよりももっと大事な、親善の持つ本当の意味と交流試合の大切な局面を教えられたとのことでした。サンフランシスコに訪問した際にも、ホストファミリーはアメリカ流の生活をしているのだけれど、ある意味日本人よりも日本人らしく礼節を重んじる姿勢、日系人社会特有のおもてなしの心を体験されたそうです。また、何度目かのサンフランシスコを訪問した際には、日系人強制収容所に送られた経験を持つ老人のお話しを聞く機会があったそうです。アメリカ人として生活している中学生だけれども、人種的、文化的背景を次代に引き継ぐことが、着実に行われていることにも感心されたそうです。

バスケットボールを通じて大阪YMCAと出会い、そしてJCCCNCに出会ったことで、視野が大きく広がったことに感謝されていました。

【IBC 報告】日米夏季留学生交換プログラム 続報

IBC 委員 脇本 博

経過報告します。ブリテン4月号に記載しましたが、3月29日にパサデナクラブのジェフ・ブランディングン会長に留学生の公式の招待状を送りました。それに対して31日にすぐパサデナで学生の人選に入る旨メールがありました。4月3日、ジェフから学生の質問を受け取りました。グローバルユースカンファランス（GYC）（8月6日～10日開催）に参加すると、日本での滞在期間が短くなって日本で行きたい所にも行けない、途中でカンファランスを抜けても良いかという質問でした。それに対して我々の交換留学生プログラムはYMC A並びにワイズ運動に関連するものであり、8年前にニコラス君の参加でHHキャンプが大変盛り上がり大きな成果を得たこと、またパサデナからの学生が途中で退席すると、せっかくの学生同士の国際理解もそこなわれるのではないかと心配である、このようなことからGYCにはフルに参加して頂きたい旨の下記のメールを送りました。

Hello Jeff,

Thank you for sending your student's question.

We'd rather have the student attend the conference for all the days during the Aug.6-10 period than she is absent from GYC in the middle. We want her to make good foreign friends at GYC and to nurture international friendship with other foreign students from over the world through our program. We believe it turns to good experiences for her now and as well as in future. If she goes out halfway from GYC, I'm afraid that the other students would be disappointed to find her absent when they thought they were able to make a good relationship with her as a colleague. We think joining the GYC is just fit to our traditional summer student exchange program this year remembering Nicholas-san's case.

The student is not given the special role at GYC. She will join GYC as a general student like the ones from other countries. The candidate seems to be worried about the shortage of time for her to go to the place where she wants to visit in Japan, if she joins the GYC full time. We, however, want to put the priority on her full and complete attendance at GYC. Our exchange program is not only the evidence of friendship between Pasadena and Osaka Y's men's Club, also a tool for our youths to understand Y's men's movements.

Although we are going to realize her hopes (where to go and what she wants to do in Japan) of the student as many and much as possible thereafter, there may be some limitations when we think the conditions such as the distance from Osaka and the period of staying in Japan she schedules.

Anyway I would like to make this email the reply to the student's question.

Please convey my best wishes to all members of Pasadena Y's men's club and a possible our summer exchange student.

Sincerely

Hiroshi Wakimoto
IBC committee of Osaka Y's men's club

それに対して4月4日当方の考えをよく分かってくれたようで下記のメールが届きました。4月末には候補者を選定することなのですが、4月25日現在まだ連絡がありません。

Hello Hiroshi,

Thank you for your reply. I fully understand and agree with your position on our student with respect to the GYC. I told the student I would ask her question even though I told her it was likely she would have to attend the entire conference, not just parts of it. This younger generation is unique. Many of the students these days want special privileges. Sorry for asking this question.

As it turns out we might have a 2nd candidate, not just this girl who asked the special question. This new student candidate just came to my attention today. He is the son of a YMCA employee. We will keep looking for the best candidate until about the end of April and then we will make a decision. We may not have to choose the girl with the special question. We now have other options, not just one candidate. Hopefully we get a couple more good candidates to choose from. We will send you our best candidate who is more than willing to attend the entire GYC.

We will keep you posted as to our final candidate in the coming weeks. We send best wishes to you and your family as well as the other members of the Osaka Club.

Best Regards,

Jeff Brandeen

President
Pasadena Y Men's Club
Regional Director-Pacific Southwest Region US Area

【大阪YMCAニュース】

濱添 吉生

★第301回早天祈祷会記念★

日時...2018年5月18日(金) 7:30~8:30

証し...小川 健一郎さん(大阪YMCA総主事)

場所...大阪YMCA会館 10階チャペル

☆大阪 YMCA 創立記念礼拝☆

日時...2018年6月2日(土)

場所...大阪 YMCA 会館

奨励...山口 恒 牧師(日本基督教団浪花教会)

☆土佐堀会館工事のお知らせ

土佐堀会館の外壁全面補修工事を下記の期間実施いたします。

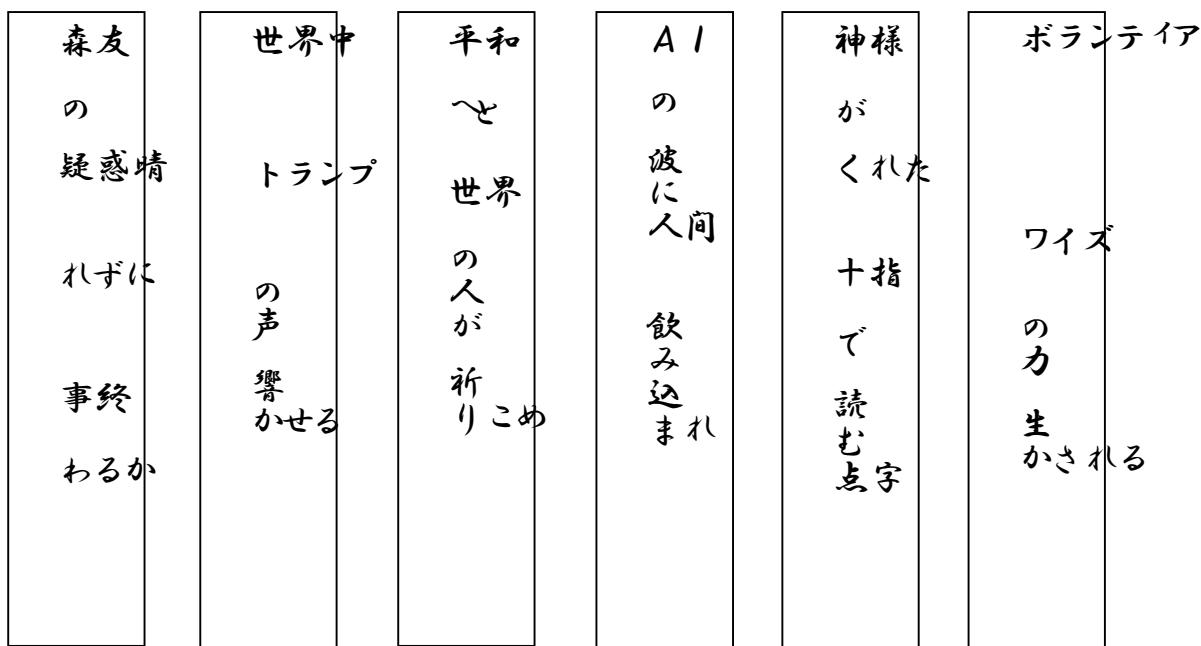
工事期間中は、駐車・駐輪場の使用制限を致しますので、自動車、自転車での来館はお控えいただきますようお願いいたします。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程お願いいたします。

日時...2018年2月1日(木)～6月30日(土)

【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。



【編集後記】

最近若者の貧困がよく言われています。結婚しても共稼ぎが多く、子供の貧困も言われています。就職も8割の方は中小企業であり、実質の給料も下がっているようです。転職が多いと、地域への定着性も少なくなります。最近、墓じまいの言葉をよく聞きますが、これも原因の一つとなっています。国民も立ち止まってよく考えることも大事だと思います。

(編集委員：清水 汎)